



## 2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月13日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3501 URL https://suminoe.co.jp/  
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 薄木 宏明 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日~2021年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	58,402	△17.6	608	△50.3	669	△45.2	512	90.8
2020年5月期第3四半期	70,889	△3.9	1,226	△38.7	1,222	△32.3	268	11.0

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 409百万円( 3.3%) 2020年5月期第3四半期 396百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	81.14	—
2020年5月期第3四半期	40.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	88,761	32,701	31.3
2020年5月期	86,272	32,582	32.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 27,826百万円 2020年5月期 27,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	35.00	—	15.00	50.00
2021年5月期	—	15.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	81,400	△11.1	868	△44.3	860	△35.0	300	109.8
								47.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期3Q	7,682,162株	2020年5月期	7,682,162株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	1,363,678株	2020年5月期	1,373,422株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期3Q	6,314,618株	2020年5月期3Q	6,602,994株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退から持ち直しを見せたものの、流行第3波を背景に緊急事態宣言が発令され消費が鈍化しました。世界経済においては、中国では他地域に先行して景気が回復し、米国でもバイデン新政権の発足やワクチン接種開始が後押しとなり景況感が改善しました。

当社グループ事業に関連のあるインテリア業界において、国内の新設住宅着工戸数は前年同期比8.2%減、非住宅分野でも着工床面積が前年同期比9.6%減と下回りました。また、自動車業界において、国内市場の生産台数は前年同期比9.5%減となりました。海外市場でも生産・販売が滞り、前年同期を下回りました。

このような環境において、当社グループは、従業員が安心・安全に働ける環境の整備を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しつつ、これまで当社グループが取り組んできたESGを基軸とした商材の市場展開と、グローバル経営を推進しております。

インテリア事業では、抗菌・抗ウイルス加工技術「CLEANSE®/クレンゼ®」を施した製品や、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」といった、健康に配慮し、環境にやさしい製品の拡販に努めております。また、インテリア内装材の製造販売から空間設計・デザインへ、さらに店舗分野へと事業領域の拡大を目指してまいります。

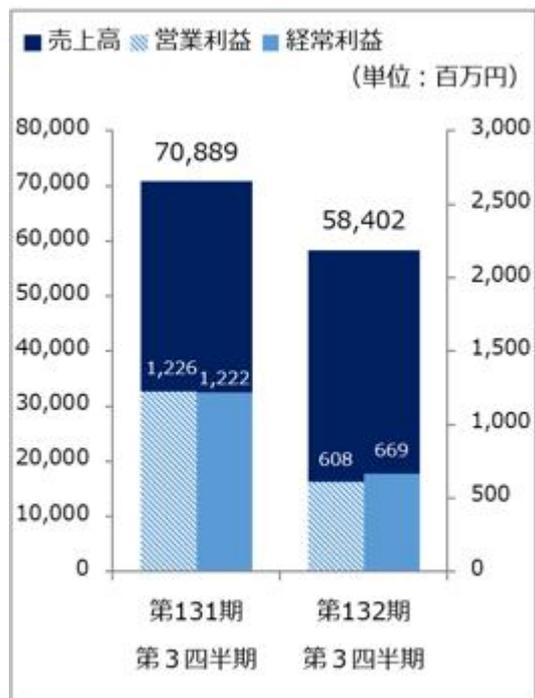
自動車・車両内装事業では、自動車関連は、合成皮革などの非繊維商材の技術開発と受注拡大に取り組むとともに、原材料調達およびグローバル車種の生産地の最適化による原価低減を進めております。車両関連は、鉄道・バス向けの高機能ファブリック素材の製造販売や、シートクッション材・安全対策商材の拡販に努めております。自動車関連、車両関連ともに、インテリア事業で培ってきた抗菌・抗ウイルスなどの加工技術を活かし製品開発に取り組んでおります。

機能資材事業では、2019年に繊維系電気暖房商材の新たな生産・販売拠点をベトナムに設立しました。地域リスクを分散し、最適な供給体制を構築してまいります。また、消臭・抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー機能を持つ当社グループ独自の複合機能加工「トリプルフレッシュ®デオ」を施した製品の拡充・販売に注力しております。

グループ全体では、経営管理体制の高度化を実現すべく、基幹システムの再構築や連結業績管理の精緻化に取り組んでおり、事業の成長に向けた土台づくりを着実に進めております。

現在、事業横断的なプロジェクトを立ち上げております。インテリア事業の持つデザイン力、自動車・車両内装事業のファブリック素材への加工技術、機能資材事業の消臭・抗菌・抗ウイルスといった高機能技術など、それぞれの事業分野が持つ強みを結集し、これからの空間に求められる次世代内装の開発に取り組んでおります。

当第3四半期における連結業績は、以下のとおりとなりました。



売上高は、業務用タイルカーペットや壁装関連の売上が伸び悩んだことや、世界的な経済鈍化の影響を受け国内外の自動車関連売上が落ち込んだことが影響し、前年同期比17.6%減の584億2百万円、利益面では、営業利益は同50.3%減の6億8百万円、経常利益は同45.2%減の6億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損益として投資有価証券売却益や固定資産除却損、減損損失を計上したことが影響し同90.8%増の5億12百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高		営業利益または営業損失 (△)	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
インテリア事業	22,379	△9.6	271	+42.1
自動車・車両内装事業	33,164	△22.1	1,487	△30.4
機能資材事業	2,528	△26.3	△17	—
その他	330	+208.2	60	+374.3
小計	58,402	△17.6	1,802	△28.1
調整額	—	—	△1,193	—
合計	58,402	△17.6	608	△50.3

## (インテリア事業)



ウェブならびに店舗販売向けの家庭用カーペットが好調となったものの、業務用タイルカーペットや、壁装関連が低迷し、売上高は前年同期比9.6%減の223億79百万円となりましたが、営業利益は販売費及び一般管理費の削減や家庭用カーペットの販売が影響し、同42.1%増の2億71百万円となりました。

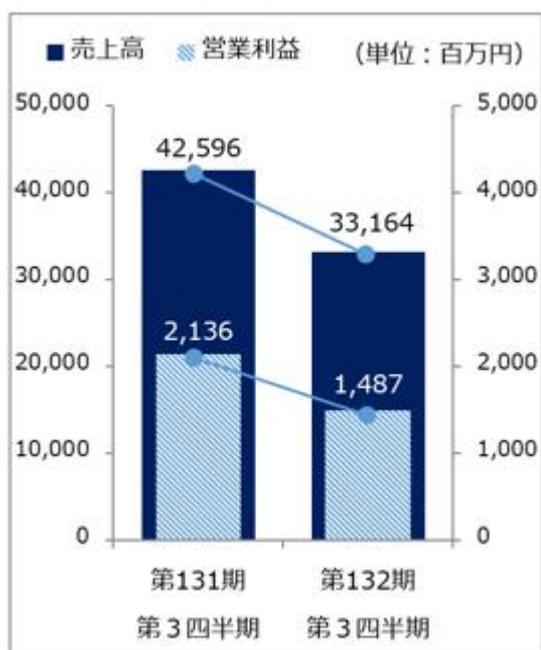
業務用カーペットのうち、ロールカーペットでは、大型案件を受注したことで売上が増加しましたが、タイルカーペットでは、特に海外輸出向けがロックダウンによる経済活動への影響から大きく低迷し、業務用カーペット全体の売上は前年同期比7.4%減となりました。

家庭用カーペットの売上は、外出自粛によりウェブ向け販売が好調に推移したことや、自粛期間明けの消費の盛り返しによりホームセンターなどの店舗販売が好調となったことで、同11.0%増となりました。

カーテンのうち、一般家庭向け「mode S® Vol.9」、 「U Life® Vol.9」は伸び悩んだものの、医療・福祉・教育施設向け「Face」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期されていた新規納入や取り換え工事が、一部で再開されたことで復調し、カーテン全体の売上は同3.4%減となりました。

壁装関連は、新型コロナウイルス感染拡大により住宅、店舗、病院およびホテルの新築・リフォーム需要が減少したことで、壁紙の売上が縮小し、売上は同16.5%減となりました。

## (自動車・車両内装事業)

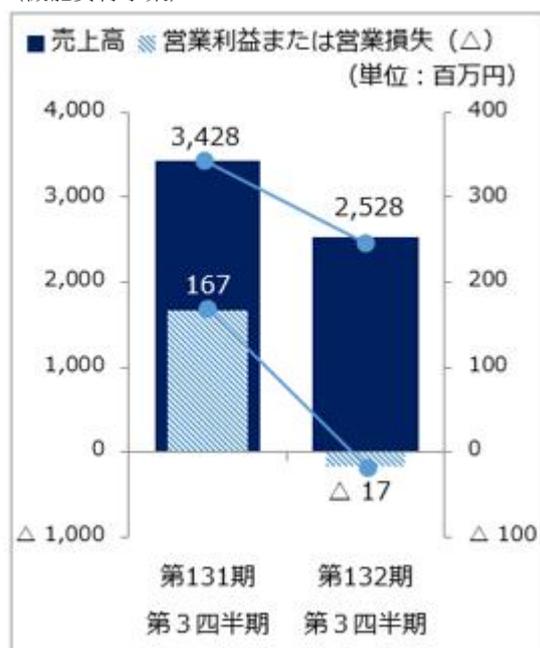


日系自動車メーカーのグローバル生産台数の減少および鉄道・バスの内装材需要の低迷を受け、売上高は前年同期比22.1%減の331億64百万円、営業利益は同30.4%減の14億87百万円となりました。

自動車関連では、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞から日系自動車メーカーの生産台数が減少しました。国内の自動車生産は2020年9月には前年同月並みまで回復し、以降も復調傾向が続いたものの、国内の売上は前年同期比12.7%減となりました。また海外では、地域ごとに差はあるものの生産台数は一様に回復基調にあり、特に中国では順調な回復が続きましたが、世界的なロックダウンに伴う販売低下の影響が大きく、海外の売上は同26.7%減となりました。

車両関連では、テレワークの推進などによる公共交通機関の利用者数減少が影響し、鉄道内装の需要が減少しました。またバスでは、国内旅行やインバウンドの大幅な縮小を受け、新車製造数が大きく低迷し、車両関連全体での売上は前年同期を下回りました。

(機能資材事業)



空気清浄機などに内蔵される消臭フィルターや、浴室床材が好調に売上を伸ばしたものの、主力製品であるホットカーペットは、前期の暖冬の影響で当期の新規受注が大きく減少しました。また、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、ルーフィング材、土木用資材、航空機内装材、ポリエステル長繊維「スミトロン®」などの売上が振るわなかったことにより、売上高は前年同期比26.3%減の25億28百万円、利益面では営業損失17百万円(前年同期 営業利益167百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や投資有価証券等が減少したものの、現金及び預金や売上債権等の増加により、前連結会計年度末に比べ24億88百万円増加し、887億61百万円となりました。

負債につきましては、借入金や仕入債務等の増加により、前連結会計年度末に比べ23億69百万円増加し、560億59百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金等が減少したものの、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加し、327億1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績の動向を踏まえ、2021年1月14日に公表しました2021年5月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,500	14,168
受取手形及び売掛金	14,502	14,859
電子記録債権	6,469	7,619
商品及び製品	10,422	8,764
仕掛品	1,669	1,488
原材料及び貯蔵品	2,847	2,699
その他	2,299	2,752
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	48,688	52,329
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,602	17,591
その他(純額)	9,858	9,276
有形固定資産合計	27,460	26,868
無形固定資産		
無形固定資産	1,598	1,561
投資その他の資産		
投資有価証券	5,987	4,966
繰延税金資産	1,395	1,756
その他	1,299	1,442
貸倒引当金	△157	△163
投資その他の資産合計	8,525	8,001
固定資産合計	37,584	36,431
資産合計	86,272	88,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,161	13,918
電子記録債務	5,135	4,913
短期借入金	10,858	9,728
1年内償還予定の社債	—	500
未払法人税等	592	297
解体費用引当金	—	297
その他	4,120	4,986
流動負債合計	33,868	34,642
固定負債		
社債	1,500	1,000
長期借入金	7,825	10,138
繰延税金負債	332	318
役員退職慰労引当金	103	145
退職給付に係る負債	4,223	4,229
その他	5,837	5,586
固定負債合計	19,821	21,417
負債合計	53,690	56,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,651	2,640
利益剰余金	10,452	10,775
自己株式	△4,017	△3,988
株主資本合計	18,641	18,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,434	923
繰延ヘッジ損益	2	3
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	331	300
退職給付に係る調整累計額	△208	△180
その他の包括利益累計額合計	9,357	8,844
非支配株主持分	4,583	4,875
純資産合計	32,582	32,701
負債純資産合計	86,272	88,761

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2021年2月28日)
売上高	70,889	58,402
売上原価	56,422	46,006
売上総利益	14,466	12,395
販売費及び一般管理費	13,240	11,786
営業利益	1,226	608
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	120	102
為替差益	—	30
不動産賃貸料	201	201
その他	191	169
営業外収益合計	527	518
営業外費用		
支払利息	209	175
持分法による投資損失	75	194
為替差損	134	—
不動産賃貸費用	24	24
その他	87	63
営業外費用合計	531	457
経常利益	1,222	669
特別利益		
固定資産売却益	2	5
投資有価証券売却益	143	1,285
特別利益合計	145	1,291
特別損失		
固定資産除売却損	62	332
減損損失	—	280
投資有価証券評価損	—	15
特別損失合計	62	628
税金等調整前四半期純利益	1,305	1,332
法人税、住民税及び事業税	646	586
法人税等調整額	12	△95
法人税等合計	658	490
四半期純利益	646	842
非支配株主に帰属する四半期純利益	378	329
親会社株主に帰属する四半期純利益	268	512

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	646	842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	△510
繰延ヘッジ損益	8	△4
為替換算調整勘定	△110	49
退職給付に係る調整額	32	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	5
その他の包括利益合計	△250	△432
四半期包括利益	396	409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21	△1
非支配株主に係る四半期包括利益	374	410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が前連結会計年度末以後1年程度続くとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計に関する会計上の見積りを会計処理に反映しております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,756	42,596	3,428	70,782	107	70,889	—	70,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	535	4	0	541	124	665	△665	—
計	25,292	42,600	3,429	71,323	232	71,555	△665	70,889
セグメント利益	191	2,136	167	2,495	12	2,507	△1,281	1,226

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,281百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,303百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性がないため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,379	33,164	2,528	58,071	330	58,402	—	58,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482	1	0	484	122	606	△606	—
計	22,861	33,165	2,528	58,555	453	59,009	△606	58,402
セグメント利益 又は損失(△)	271	1,487	△17	1,742	60	1,802	△1,193	608

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,193百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,213百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「インテリア事業」「自動車・車両内装事業」「機能資材事業」セグメント、「その他」および報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「インテリア事業」セグメントで129百万円、「自動車・車両内装事業」セグメントで106百万円、「機能資材事業」セグメントで4百万円、「その他」で1百万円および報告セグメントに配分していない全社資産で38百万円であります。